

# 特別プログラム

〔第1日 11月2日（水）〕

- <特別講演1> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 14:30～15:20  
「パーキンソン病の疾患修飾療法の開発を目指して—プレジジョンメディシンの重要性」  
座長：武田 篤（国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科）  
演者：服部 信孝（順天堂大学医学部脳神経内科，理化学研究所脳神経科学研究センター神経変性疾患連携研究チーム）
- <特別講演2> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 14:30～15:20  
「Therapy of neuromyelitis optica : Past, present and future」  
座長：中島 一郎（東北医科薬科大学医学部老年神経内科学）  
演者：Brian G. Weinschenke（Department of Neurology, University of Virginia）
- <委員会企画> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 15:30～16:30  
「ASENT-JSNT Joint Symposium」  
ASENTの活動と私のパーキンソン病研究  
Maral Mouradian（Department of Neurology, Rutgers Robert Wood Johnson Medical School）
- <理事長講演> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 9:00～9:30  
「神経治療学の実践・創薬推進を目指して」  
座長：藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）  
演者：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）
- <会長講演> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 8:30～9:00  
「多発性硬化症とは何か」  
座長：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）  
演者：藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）
- <教育講演1> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 9:40～10:20  
「グリオーマの最新治療」  
座長：中里 良彦（埼玉医科大学脳神経内科）  
演者：藤井 正純（福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座）
- <教育講演2> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 10:30～11:10  
「慢性腰痛の病態と治療」  
座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学内科学講座脳神経内科）  
演者：紺野 慎一（福島県立医科大学整形外科学講座）
- <教育講演3> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 15:30～16:10  
「遺伝子治療—基本から最新の動向まで—」  
座長：高嶋 博（鹿児島大学脳神経内科・老年病学）  
演者：望月 秀樹（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

<教育講演 4> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 16:40 ~ 17:20

「神経疾患における期待されるリハビリテーション医学の進歩」

座長：藤岡 俊樹（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野，東邦大学医療センター大橋病院脳神経内科）

演者：田島 文博（和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座，文部科学省認定障がい者スポーツ医学科学研究拠点）

<シンポジウム 1> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 9:40 ~ 11:40

「パーキンソン症候群の治療法開発の最前線」

座長：富山 誠彦（岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野）

渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）

- (1) シヌクレイノパチーの新規バイオマーカーの開発  
波田野 琢（順天堂大学大学院医学研究科神経学）
- (2) PSP の新規治療法開発—どのように臨床試験を成功させるか—  
金澤 雅人（新潟大学脳研究所脳神経内科学分野）
- (3) MSA の新規治療法開発  
武田 篤（国立病院機構仙台西多賀病院）
- (4) IgLON5 抗体関連疾患の臨床像と治療  
下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

<シンポジウム 2> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 9:40 ~ 11:40

「脳梗塞治療の新たな門出」

座長：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学教室）

長尾 毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院）

- (1) 脳卒中治療ガイドライン 2021 から追補 2023 へ  
板橋 亮（岩手医科大学内科学講座脳神経内科・老年科分野）
- (2) Lage core：血栓回収療法はどこまで攻め込めるのか  
内田 和孝（兵庫医科大学脳神経外科，兵庫医科大学臨床疫学）
- (3) 脳梗塞治療の発展と細胞治療の夜明け  
長内 俊也（北海道大学病院脳神経外科）
- (4) 脳卒中患者および家族への相談支援  
藤本 茂（自治医科大学内科学講座神経内科学部門）

<シンポジウム 3> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 9:40 ~ 11:40

「NMOSD に対する生物学的製剤治療の現状と課題」

座長：田原 将行（国立病院機構宇多野病院臨床研究部）

三須 建郎（東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野）

- (1) ソリリス・抗補体治療の現状と課題  
中島 一郎（東北大学医学部老年神経内科学）
- (2) 視神経脊髄炎に対する IL-6R 抗体治療：現状と課題  
山村 隆（国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部）
- (3) イネビリズマブ・CD19 抗体の現状と課題  
三須 建郎（東北大学病院脳神経内科）
- (4) リツキシマブ・CD20 抗体の現状と課題  
田原 将行（国立病院機構宇多野病院）

<シンポジウム4> 第4会場「ホテルハマツ 3F 橋」 9:40～11:40

「重症筋無力症の新たな治療戦略」

座長：檜沢 公明（総合花巻病院脳神経内科）

鈴木 靖士（国立病院機構仙台医療センター神経内科）

- (1) Minimal Manifestations とは—治療目標の標準化に向けて—  
渡辺 源也（国立病院機構仙台医療センター）
- (2) Early fast acting treatment の有効性と問題点—残されたアンメットニーズを含めて—  
鶴沢 顕之（千葉大学医学部附属病院脳神経内科）
- (3) 全身型重症筋無力症に対する補体をターゲットとした分子標的薬；C5 阻害薬  
増田 眞之（東京医科大学神経学分野脳神経内科）
- (4) 新薬 2—胎児性 Fc 受容体阻害薬（エフガルチギモド，ロザノリキシズマブなど）  
長根百合子（総合花巻病院脳神経内科）

<シンポジウム5> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 15:30～17:30

「多発性硬化症（MS）の最新治療戦略」

座長：磯部 紀子（九州大学大学院医学研究院神経内科学）

宮崎 雄生（国立病院機構北海道医療センター脳神経内科）

- (1) COVID-19 パンデミックにおける多発性硬化症の B 細胞治療戦略  
宮崎 雄生（国立病院機構北海道医療センター脳神経内科）
- (2) パンデミック下，パンデミックを乗り越える MS 診療における地域連携の在り方  
廣谷 真（札幌パーキンソン MS 神経内科クリニック）
- (3) 多発性硬化症における病態進行の理解に基づく進行期治療の向かうべき方向性  
濱谷 美緒（京都大学高等研究院ヒト生物学高等研究拠点，関西医科大学総合医療センター）
- (4) 多発性硬化症における個別化医療の発展に向けて  
千原 典夫（神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学，神戸大学医学部附属病院脳神経内科）

<シンポジウム6> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 15:30～17:30

「脊髄小脳変性症とその周辺疾患：最近のトピックス」

座長：矢部 一郎（北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学教室）

太田 康之（山形大学大学院医学系研究科医学専攻 内科学第三講座神経学分野）

- (1) 脊髄小脳失調症のバイオマーカー開発をめざして  
永井 義隆（近畿大学医学部脳神経内科）
- (2) 治療可能な神経疾患としての自己免疫性小脳失調症～早期診断・早期治療を目指して～  
矢口 裕章（北海道大学神経内科）
- (3) 多系統萎縮症の治療開発について  
三井 純（東京大学医学部附属病院脳神経内科）
- (4) 脊髄小脳変性症のニューロリハビリテーション治療：現状と展望  
宮井 一郎（森之宮病院神経リハビリテーション研究部）

<シンポジウム7> 第4会場「ホテルハマツ 3F 橋」 15:30～17:30

「炎症性ミオパチーの病態と治療」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学脳神経内科）

鈴木 重明（慶應義塾大学医学部神経内科）

(1) 自己免疫性筋炎の筋病理

西野 一三（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）

(2) 筋炎の自己抗体

中嶋 蘭（京都大学大学院医学研究科臨床免疫学）

(3) 筋炎の皮膚症状と治療

藤本 学（大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学，大阪大学免疫学フロンティア研究センター皮膚免疫学）

(4) 炎症性筋疾患の筋症候と治療

神田 隆（山口大学医学部神経・筋難病治療学）

<シンポジウム8> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 15:30～17:30

「進行期パーキンソン病の治療戦略」

座長：武田 篤（国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科）

下 泰司（順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科）

(1) 進行期パーキンソン病における新規抗パーキンソン病薬の役割

関 守信（慶應義塾大学医学部神経内科）

(2) 進行期PDのDevice Aided Therapy：DBSの新たな展開（Adaptive DBS）

中島明日香（順天堂大学医学部附属練馬病院脳神経内科，順天堂大学運動障害疾患病態研究治療講座）

(3) 進行期PDのDevice Aided Therapy：LCIGの適応

馬場 徹（国立病院機構仙台西多賀病院）

(4) DAT時代の進行期パーキンソン病治療戦略と将来の展望

木村 活生（横浜市立大学附属市民総合医療センター脳神経内科）

<マラソンレクチャー1> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 9:40～10:20

「脳神経内科医がAI研究のスタートラインに立つまで～神経疾患のAIを中心に～」

座長：深浦 彦彰（埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科）

演者：宮崎 雄生（国立病院機構北海道医療センター脳神経内科）

<マラソンレクチャー2> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 10:30～11:10

「神経治療の医療経済学」

座長：河内 泉（新潟大学大学院医歯学総合研究科総合医学教育センター/脳研究所・医歯学総合病院脳神経内科）

演者：荻野美恵子（国際医療福祉大学市川病院神経難病センター・医学部医学教育統括センター）

<マラソンレクチャー3> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 16:20～17:00

「虚血性脳血管障害のCTとMRIの見方～画像が読めると脳卒中診療が楽しくなる～」

座長：猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳神経内科）

演者：木村 和美（日本医科大学脳神経内科）

<マラソンレクチャー 4> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 17:10～17:50

「自己免疫性中枢神経炎症性疾患」

座長：千葉 厚郎（杏林大学医学部脳神経内科学）

演者：田中 恵子（新潟大学脳研究所モデル動物開発分野，福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座）

<第18回 神経難病における音楽療法を考える会 神経疾患音楽療法研究会>

第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 15:30～17:30

第I部 特別講演

「私の心と音楽との関係性の違いに基づく音楽療法の一解釈」

座長：林 明人（順天堂大学脳神経内科）

演者：川島孝一郎（仙台往診クリニック）

第II部 実践報告

座長：近藤清彦（相澤病院脳卒中・脳神経センター）

- (1) ALS・高次脳機能障害の患者さんへの音楽療法の実際～表現の喜びと心の解放・新たな価値の発見～  
植木亜弓（東北労災病院音楽療法士・ポラーノの椅子）
- (2) 特別養護老人ホームで認知症と共に暮らす高齢者のための音楽療法  
弓田菜々子（特別養護老人ホーム萩の風）

## 〔第2日 11月3日（木）〕

### ＜特別講演3＞ 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 12:50～13:40

#### 「ALS および希少筋疾患に対する治療法の開発」

座長：桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

演者：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

### ＜特別企画シンポジウム1＞ 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 9:10～11:10

#### 「地域医療部会シンポジウム」

座長：尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院神経内科）

杉浦 嘉泰（国立病院機構福島病院脳神経内科）

(1) 地震や水害のご経験を踏まえた災害対策ネットワークづくり

宇川 義一（福島県立医科大学ヒト神経生理学講座）

(2) 国立病院機構あきた病院における神経筋難病の地域医療連携

小林 道雄（国立病院機構あきた病院脳神経内科，国立病院機構あきた病院地域医療連携室）

(3) てんかん診療ネットワークの現状と展望

溝渕 雅広（南一条脳内科，中村記念病院てんかんセンター）

(4) パーキンソン病の多職種連携医療

武田 篤（国立病院機構仙台西多賀病院）

### ＜特別企画シンポジウム2＞ 第4会場「ホテルハマツ 3F 橘」 14:40～17:10

#### 「創薬推進委員会シンポジウム」

座長：勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻脳神経病態制御学神経内科学分野）

桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

(1) 医薬品開発における問題点と学会への期待～製薬会社対象アンケート調査結果の報告

藤本 陽子（ファイザー（株）バイオフィーマシューティカルズ）

(2) 製薬会社からみた医薬品開発の課題と神経治療学会への期待

松田 尚人（ユージービージャパン（株）メディカルアフェアーズ本部）

(3) 神経疾患の医薬品開発に期待すること — 承認審査の立場から

佐久嶋 研（医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部）

(4) 日本小児循環器学会による治験促進活動

三浦 大（東京都立小児総合医療センター循環器科）

(5) 神経治療学会の現在の取り組みと展望

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター）

### ＜教育講演5＞ 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 9:10～9:50

#### 「アルツハイマー病の糖尿病的機序と高齢者の認知症予防」

座長：高橋 一司（東京都立神経病院）

演者：大八木保政（愛媛大学大学院医学系研究科脳神経内科・老年医学講座）

<教育講演 6> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 10:00～10:40

「最新の骨折治療」

座長：服部 信孝（順天堂大学医学部脳神経内科）

演者：松下 隆（総合南東北病院外傷センター，新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター，福島県立医科大学外傷学講座）

<教育講演 7> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 9:10～9:50

「眼科における視神経炎および類縁疾患の診断と治療」

座長：清水 優子（東京女子医科大学脳神経内科）

演者：石龍 鉄樹（福島県立医科大学眼科学講座）

<教育講演 8> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 10:00～10:40

「アクアポリン4と神経変性疾患」

座長：三須 建郎（東北大学病院脳神経内科）

演者：安井 正人（慶應義塾大学医学部薬理学教室）

<教育講演 9> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 13:40～14:20

「電気生理学から見た神経疾患の診断と病態」

座長：谷脇 考恭（久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門）

演者：金井 数明（福島県立医科大学脳神経内科学講座）

<教育講演 10> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 14:30～15:10

「多発性硬化症の病態解析・治療モニタリングにおけるMRIの役割」

座長：中原 仁（慶應義塾大学医学部神経内科）

演者：三木 幸雄（大阪公立大学大学院医学研究科放射線診断学・IVR学教室）

<教育講演 11> 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 15:20～16:00

「遠隔てんかん診療の現在と未来」

座長：花島 律子（鳥取大学医学部脳神経内科学）

演者：中里 信和（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）

<シンポジウム 9> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 9:10～11:10

「自己免疫性脳炎のトピックス」

座長：原 誠（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

飯塚 高浩（北里大学医学部脳神経内科学）

(1) 自己免疫性脳炎における診断と抗体測定におけるピットフォール

飯塚 高浩（北里大学医学部・脳神経内科学）

(2) GFAP アストロサイトパチーの病態と臨床的特徴

木村 暁夫（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

(3) 傍腫瘍性神経症候群—up to date

田中 恵子（新潟大学脳研究所モデル動物開発分野，福島県立医科大学多発性硬化症治療学講座）

(4) 自己免疫性脳炎および関連疾患の病態，診断と治療 update

原 誠（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

<シンポジウム 10> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 9:10～11:10

「未来を創るデータの作り方」

座長：三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

橋詰 淳（名古屋大学大学院医学系研究科臨床研究教育学）

- (1) 未来を作るデータの作り方 RWD/RWE の活用に向けて  
中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター）
- (2) 薬事行政から見た RWD の活用の動向  
安藤 友紀（医薬品医療機器総合機構）
- (3) 難病領域におけるリアルワールドデータ活用の動向～難病プラットフォームを例に～  
山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学脳神経内科，聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター）
- (4) 電子カルテを利用した RWD の活用の動向  
小澤 郷司（(株) Real Discovery Outdoors）
- (5) 海外と日本における RWD の整備と活用状況 —製薬企業の視点で—  
松井 信智（IQVIA ソリューションズ ジャパン（株））

<シンポジウム 11> 第4会場「ホテルハマツ 3F 橋」 9:10～11:10

「高齢化するパーキンソン病診療」

座長：波田野 琢（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）

前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野）

- (1) 高齢者パーキンソン病の疫学と今後の課題  
上野 真一（順天堂大学医学部附属順天堂医院脳神経内科）
- (2) パーキンソン病をもった高齢者をどう「み」るか～エビデンスの空白地帯から眺める～  
齊藤 勇二（東京都立神経病院脳神経内科）
- (3) 高齢者パーキンソン病の病態を知る—病理から診た特徴—  
仙石 錬平（東京慈恵会医科大学附属第三病院脳神経内科）
- (4) 先進 PET プローブを用いた生体内イメージング技術で高齢者の神経変性パーキンソニズムの病態に  
せまる  
遠藤 浩信（量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所）
- (5) 高齢 Parkinson 病のマネージメント —大学病院の立場から—  
岩岡 和博（岩手医科大学内科学講座脳神経内科・老年科分野）
- (6) 高齢パーキンソン病のマネージメント—地域医療の立場から—  
和手 麗香（いずみ脳神経内科）

<シンポジウム 12> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 12:50～14:50

「自己免疫性ニューロパチーの病態最前線」

座長：神田 隆（山口大学医学部神経・筋難病治療学）

海田 賢一（埼玉医科大学総合医療センター脳神経内科）

- (1) COVID-19 と GBS  
桑原 基（近畿大学医学部脳神経内科）
- (2) ギラン・バレー症候群の新規治療の動向  
三澤 園子（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）
- (3) 抗 neurofascin 155 抗体，抗 contactin-1 抗体陽性ノドパチー  
緒方 英紀（九州大学病院脳神経内科）



- (4) CIDP の最新治療：アップデート  
古賀 道明 (山口大学大学院医学系研究科臨床神経学)

<シンポジウム 13> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 12:50 ~ 14:50

「Restless leg 症候群：Grade システムに準拠する標準的神経治療をめざして」

- 座長：富本 秀和 (三重大学大学院医学系研究科, 済生会明和病院)  
坪井 義夫 (福岡大学医学部脳神経内科)
- (1) Restless legs 症候群の疾患概念  
宮本 智之 (獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科)
  - (2) RLS の病因・病態  
宮本 雅之 (獨協医科大学看護学部看護医科学 (病態治療) 領域, 獨協医科大学病院睡眠医療センター)
  - (3) レストレスレッグス症候群の治療  
岡 靖哲 (愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター)
  - (4) RLS 診療ガイドライン—Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2020 に沿った作成方法—  
小島原典子 (静岡社会健康医学大学院大学)

<シンポジウム 14> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 15:00 ~ 17:00

「認知症先制医療のフロントライン：その現状と課題」

- 座長：富本 秀和 (三重大学大学院医学系研究科, 済生会明和病院)  
秋山 治彦 (横浜市立脳卒中・神経脊椎センター臨床研究部)
- (1) アルツハイマー病に対する疾患修飾療法の現状と展望  
小野賢二郎 (金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学)
  - (2) 先制医療のための疾患バイオマーカー  
和田 健二 (川崎医科大学認知症学)
  - (3) アミロイドβの脳外クリアランス  
猪原 匡史 (国立循環器病研究センター脳神経内科)
  - (4) イメージングが描く認知症先制医療実現への道程  
島田 齊 (新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター臨床機能脳神経学分野, 量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究部)
  - (5) アルツハイマー病疾患修飾薬開発のための医療基盤研究：J-ADNI と J-TRC  
岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科神経病理学)

<シンポジウム 15> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 15:00 ~ 17:00

「希少疾病の核酸医薬による超個別化医療 (N of 1 治療) の展開」

- 座長：横田 隆徳 (東京医科歯科大学脳神経病態学分野)  
水澤 英洋 (NCNP 病院国立精神・神経医療研究センター)
- (1) 米国で先行する超希少疾病の核酸医薬を用いた個別化医療 (N-of-1)  
横田 隆徳 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野)
  - (2) 核酸医薬を用いた神経希少疾患に対する個別化医療の展望  
中山 東城 (ハーバード医科大学ボストン小児病院, 東京医科歯科大学大学院脳神経病態学分野)
  - (3) わが国における稀少・未診断疾患イニシアチブ IRUD の現状  
水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター)
  - (4) 核酸医薬品の N-of-1 創薬における非臨床安全性評価の考え方  
真木 一茂 (医薬品医療機器総合機構)

(5) 産業界から見た N-of-One 医薬品創出へ向けた課題

梶井 靖 (武田薬品工業 (株) T-CiRA ディスカバリーアンドイノベーション)

<シンポジウム 16> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 15:00 ~ 17:00

「片頭痛治療のパラダイムシフト」

座長: 平田 幸一 (獨協医科大学)

竹島多賀夫 (富永病院脳神経内科)

(1) 頭痛の診療ガイドライン 2021: 片頭痛診療の新しい羅針盤

柴田 護 (東京歯科大学市川総合病院神経内科)

(2) 片頭痛の支障度

辰元 宗人 (獨協医科大学病院頭痛センター・医療安全推進センター)

(3) カルシトニン遺伝子関連ペプチド (CGRP) の病態仮説から紐解く新しい片頭痛治療

西郷 和真 (近畿大学病院遺伝子診療部・脳神経内科)

(4) セロトニン (5-HT<sub>1F</sub>) 受容体作動薬

永田栄一郎 (東海大学医学部内科学系脳神経内科)

<マラソンレクチャー 5> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 13:40 ~ 14:20

「視神経脊髄炎に対する治療の反応性が明らかにした免疫病態」

座長: 森 雅裕 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)

演者: 横山 和正 (東静岡神経センター)

<メディカルスタッフ・レクチャー 1> 第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 9:10 ~ 9:50

「やさしい高次脳機能の診かた」

座長: 上田 雅之 (東京都立多摩総合医療センター神経・脳血管内科)

演者: 佐藤 睦子 (総合南東北病院神経心理学研究部門)

<メディカルスタッフ・レクチャー 2> 第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 10:00 ~ 10:40

「ベッドサイド診療で用いられる神経学的所見の再検討」

座長: 和泉 唯信 (徳島大学大学院臨床神経科学分野 (脳神経内科))

演者: 古谷 博和 (高知大学医学部脳神経内科)

<メディカルスタッフ・レクチャー 3> 第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 13:40 ~ 14:20

「高齢パーキンソン病者をみんなで見る~多職種協働の基本とパーキンソン病療養指導士の役割~」

座長: 永山 寛 (日本医科大学脳神経機能解析学講座)

演者: 石田 義則 (竹田総合病院脳神経内科)

<メディカルスタッフ・レクチャー 4> 第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 14:30 ~ 15:10

「摂食嚥下障害に対するリハビリテーションの現状と更なる発展」

座長: 三條 伸夫 (東京医科歯科大学脳神経内科)

演者: 倉智 雅子 (国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科)

## 〔第3日 11月4日（金）〕

### ＜特別企画シンポジウム3＞ 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 9：10～11：10

#### 〔PMDA Joint Symposium〕

座長：中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門臨床研究支援部）

佐久嶋 研（医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部）

パネリスト：藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）

桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻 脳神経病態制御学 神経内科学分野）

新規医療技術開発の展望と PMDA の取り組み

演者：山本 晴子（医薬品医療機器総合機構）

### ＜教育講演12＞ 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 9：10～9：50

#### 〔中枢神経回路の障害と修復を制御するメカニズムと治療法の開発〕

座長：戸田 達史（東京大学大学院医学系研究科神経内科学脳神経内科）

演者：山下 俊英（大阪大学大学院医学系研究科分子神経科学）

### ＜教育講演13＞ 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 10：00～10：40

#### 〔顔面痛を診る〕

座長：竹島多賀夫（富永病院脳神経内科）

演者：山本 悌司（総合南東北病院神経科学研究所）

### ＜教育講演14＞ 第5会場「ホテルハマツ 3F 左近」 12：50～13：30

#### 〔中枢神経炎症性脱髄疾患の最近の進歩〕

座長：中辻 裕司（富山大学学術研究部医学系脳神経内科）

演者：中島 一郎（東北医科薬科大学医学部老年神経内科学）

### ＜シンポジウム17＞ 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 9：10～11：10

#### 〔ぜひ知っておきたい神経感染症の診断・治療の最新の動向〕

座長：中嶋 秀人（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学内科学脳神経内科）

(1) 髄膜炎・脳炎の診断における FilmArray システムの臨床応用

中嶋 秀人（日本大学医学部内科学系神経内科学分野）

(2) 薬剤関連進行性多巣性白質脳症の対策

新野 正明（北海道医療センター臨床研究部）

(3) HIV 関連認知障害の現状と対策

岡 慎一（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター）

(4) COVID 19 後遺症：neuro-PASC の臨床と病態

下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

<シンポジウム 18> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 9:10～11:10

「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の治療の最前線」

- 座長：青木 正志 (東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座神経内科学分野)  
熱田 直樹 (愛知医科大学医学部内科学講座 (神経内科))
- (1) ALSにおける治療薬開発—病態解明の双方向性と今後の展開  
漆谷 真 (滋賀医科大学内科学講座脳神経内科)
  - (2) 最新の知見に基づく患者・介護者へのアプローチ  
狩野 修 (東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野)
  - (3) 最新の知見に基づく非運動症状へのアプローチ  
割田 仁 (東北大学病院脳神経内科)
  - (4) ALSの代謝・栄養障害とその対策 update  
清水 俊夫 (東京都立神経病院脳神経内科)
  - (5) 筋萎縮性側索硬化症の呼吸管理：最新の知見に基づく呼吸障害へのアプローチ  
藤田 拓司 (拓海会神経内科クリニック)
  - (6) 最新の知見に基づくリハビリテーション  
森田 光哉 (自治医科大学内科学講座神経内科学部門附属病院リハビリテーションセンター)

<シンポジウム 19> 第4会場「ホテルハマツ 3F 橋」 9:10～11:10

「MOG抗体関連疾患 (MOGAD) の臨床と病態」

- 座長：高井 良樹 (東北大学病院脳神経内科)  
森 雅裕 (千葉大学医学研究院脳神経内科学)
- (1) MOG抗体関連疾患の疫学と臨床像  
中村 正史 (東北医科薬科大学医学部老年神経内科学)
  - (2) MOGADの画像的特徴  
森 雅裕 (千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学)
  - (3) MOGADの病理と病態  
高井 良樹 (東北大学病院脳神経内科)
  - (4) MOGADの病態と治療  
千原 典夫 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学, 神戸大学医学部附属病院脳神経内科)

<シンポジウム 20> 第1会場「ホテルハマツ 3F 右近」 12:50～14:50

「てんかんの病態と治療 Update」

- 座長：神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)  
池田 昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)
- (1) てんかんの病態治療解明の融合的新知見へのアプローチ  
池田 昭夫 (京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座)
  - (2) てんかんの生理学的・放射線学的評価法の進歩  
松本 理器 (神戸大学大学院医学研究科脳神経内科学分野)
  - (3) てんかん治療デバイス；難治てんかんに対する迷走神経刺激療法 (VNS)  
赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科, 福岡山王病院)
  - (4) てんかんの薬物治療 ～最近の進歩～  
神 一敬 (東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野)

<シンポジウム 21> 第2会場「ホテルハマツ 3F 桜」 12:50 ~ 14:50

「変性疾患における神経放射線学的知見」

座長：青木 茂樹（順天堂大学医学部放射線医学講座）

徳丸 阿耶（東京都健康長寿医療センター放射線診断科）

(1) 神経変性疾患の画像診断：臨床—画像—病理連関の意義

徳丸 阿耶（東京都健康長寿医療センター放射線診断科）

(2) 脳MRI統計解析を用いた神経変性疾患の研究：脳容積から脳内ネットワーク解析まで

掛田 伸吾（弘前大学放射線診断学講座）

(3) Noninvasive diffusion magnetic resonance imaging measures related to glymphatic system activity

鎌形 康司（順天堂大学放射線科）

(4) 神経変性疾患における定量的磁化率マッピング（QSM）の臨床応用

工藤 興亮（北海道大学大学院医学研究院画像診断学教室）

<シンポジウム 22> 第3会場「ホテルハマツ 3F 中央」 12:50 ~ 14:50

「神経救急における脳神経内科医の活躍」

座長：西山 和利（北里大学脳神経内科学）

園生 雅弘（帝京大学脳神経内科）

(1) 急性期脳卒中診療における非けいれん性てんかん重積の検出と治療

永井 俊行（北里大学病院脳神経内科）

(2) 脳梗塞急性期の再開通療法と脳神経内科医の役割

神谷 雄己（虎の門病院脳神経血管内治療科）

(3) 重症筋無力症の救急管理

鈴木 重明（慶應義塾大学医学部神経内科）

(4) 神経難病における救急医療

石田 志門（大阪医科薬科大学脳神経内科）

<マラソンレクチャー 6> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 9:10 ~ 9:50

「認知症の診断と治療 —アルツハイマー型認知症を中心に—」

座長：松川 則之（名古屋市立大学大学院医学研究科神経内科学）

演者：小野賢二郎（金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経内科学）

<マラソンレクチャー 7> 第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 10:00 ~ 10:40

「神経筋疾患を標的とした核酸医薬の基礎と臨床」

座長：藤本 陽子（ファイザー（株）バイオフィーマシューティカルズ）

演者：横田 隆徳（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野）

<メディカルスタッフ・シンポジウム 1> 第6会場「ホテルハマツ 2F 開成」 9:10 ~ 11:10

「神経治療のチーム医療」

座長：竹川 英宏（獨協医科大学病院脳卒中センター）

作石かおり（帝京大学ちば総合医療センター脳神経内科）

(1) 多発性硬化症治療におけるチーム医療—「私の病気」を知り「私の生活」を知る医療チームを目指して—

深澤 俊行（さっぽろ神経内科病院）

- (2) てんかん診療における多職種連携  
神 一敬（東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野）
- (3) 脳卒中チーム医療におけるメディカルスタッフの役割  
薬師寺祐介（関西医科大学神経内科学講座）
- (4) 多発性硬化症患者の視点と患者団体の役割  
中田 郷子（MS キャビン）
- (5) ALS 診療におけるチーム医療  
荻野美恵子（国際医療福祉大学市川病院神経難病センター・医学部医学教育統括センター）

#### <医師のための鍼灸体験講座—鍼灸の適応とその実践>

第7会場「ホテルハマツ 2F チェルシー・メイフェア」 12:50～14:20

「医師のための鍼灸体験講座（4）～頭痛・めまい・耳鳴りは頸肩部の鍼灸治療が有効か～」

座長：荒木 信夫（よみうりランド慶友病院，埼玉医科大学神経内科）

演者：山口 智（埼玉医科大学東洋医学科）